



Takuya Sugiyama

7 人制ラグビー女子日本代表の主力として、東京五輪で活躍。昨年11月にはパリ五輪アジア予選のメンバーとして戦い、見事出場権獲得にも貢献した。すでに実績十分の堤ほの花は、SAGA2024への出場を心待ちにしているという。「もちろん、まず選出されればですけどね。佐賀で育って多くの方に応援してもらってきたので、恩返ししたい気持ちがあります。これまでは日本代表の活動と重なってばか

りで、佐賀代表としてほぼプレーできていなかったんです。いまのチームには佐賀工業高校の後輩やユースに所属する選手がいて、みんな目がキラキラしてて才能豊か。監督には『中心としてがんばってほしい』と言っていたのですが、彼女たちと楽しみながら佐賀のラグビー発展の力になりたい。それに日本代表の試合を見てももらえる機会が多くないので、両親など身近な人に観てもらえるいい機会でもあるんです」

堤ほの花 ラグビーフットボール

「ポジティブな可能性をプレーで表現したい」

HONOKA TSUTSUMI

1997年6月19日、佐賀県壱野市生まれ。3歳からラグビーを始め、佐賀工業高校、日体大を経て、(株)ディックソリューションズエンジニアリング所属。東京五輪では7人制ラグビー女子日本代表として活躍し、パリ五輪予選では出場権獲得に貢献



「SAGA2024」大会概要

開催期間

国スポ：2024年10月5日～15日
 ※会期前競技：2024年9月5日～17日、9月21日～10月1日
 全障スポ：2024年10月26日～28日

開催場所

SAGAサンライズパークを
 メイン会場とする佐賀県全域

国スポ実施競技

正式競技37、特別競技1、公開競技7、
 デモンストラティオンスポーツ28の合計73競技
 全障スポ実施競技

正式競技14、オープン競技8の合計22競技

佐賀県がチャレンジする新たな取り組み
 リアルアスリート・ピクトプロジェクト、IDEA2024、
 Sagantier!(サガンティア)、選手の活躍を称える表彰、伴走者等表彰(全障スポ)など

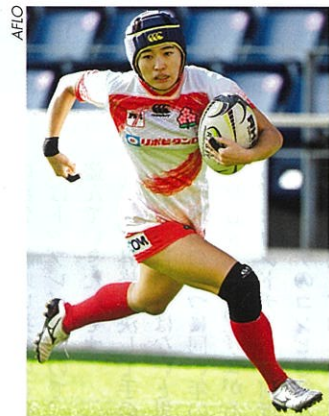
※SAGA2024は、日本スポーツ協会が掲げる「JAPAN GAMES」として新たに生まれ変わる大会です。



SAGA2024のメイン会場となるSAGAサンライズパークの全景

SAGA2024

「国体から「国スポ」に変わる節目の大会。あらためて、スポーツにできることは何でしょうか？」
 「チカラになる人もいるだろうし、チャレンジする気持ちになる人もいるかもしれない。観る人がワクワクしたり元気になったり、ポジティブな可能性を秘めていると思います。私はプレーすることでそういったスポーツのチカラを表現したい。選手としては勝ち負けが最終目標ではなく、達成感



AFO

パリ五輪の出場権を懸け、昨年11月行われた7人制ラグビーアジア予選では、トライゲッターとして出場確定に貢献

や楽しむことを一番大切にしています。だからこそここまでやってこられたし、サポートしてくれる人たちともスポーツのチカラや楽しみを共有したいです」
 「リアルアスリート・ピクトプロジェクトのモデルになりました。トライゲッターの堤さんらしい動きです。」
 「私なんかでいいのかと思いつつも、すごく光栄です。まだ両親くらいにしか伝えていないのですが、目にする機会があれば、友だちにも『これ私だよ』って伝えるようにします(笑)」
 「佐賀での国体あらため国スポの開催は1976年以来です。」
 「小さい頃から、佐賀で大きな大会を観たり経験したことがないので、お祭りみたいで素直に楽しみです。日本代表の活動ではほかの競技を観る余裕がなかったので、日程が許す限りいろんな競技を応援してみたい。せっかく佐賀が盛り上がるので、友だちも誘って地元の嬉野温泉に浸かりながら、のんびりと楽しんでみたいです」